



笛南中だより

甲府市立笛南中学校
文責 校長 八代 浩

全国学力・学習状況調査の結果について

令和3年度の全国学力・学習状況調査は、全国の中学生を対象に5月27日(木)に国語と数学で実施されました。

この調査は、「教科に関する調査(国語・数学)」と「質問紙調査」の2種類に分かれています。この調査結果を基に、本校生徒の学力や学習状況を分析・把握し、各教科における成果や課題、生活状況の実態等を明らかにすることで、今後の指導の改善に役立てることが目的です。

本校では、各教科担当を中心に分析を行ってまいりましたが、このたび分析結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

3年生は返却した個人票から、自分のつまづきを知り、その改善に取り組むように指導しています。また、分析で明らかになった課題を確認し、全学年で授業や指導のあり方を見直して、具体的な取り組みを行っていきます。

分析結果の概要

本校の状況

【県・全国の平均正答率】

	国語	数学
山梨県	66, 0	57, 0
全国	64, 6	57, 2

今回の検査では、2教科とも中央値(データを小さい順に並べたとき中央に位置する値)が県・全国とほぼ同じ値であり、標準偏差(データの散らばりの度合い)は県・国の値より低くなっています。これは、データのばらつき具合が小さいことを表しており、学力の底上げが図られています。また、数学はすべての項目において全国および山梨県の平均正答率を上回っています。国語の平均正答率も県・国よりもやや高い結果でした。

各教科における課題と改善点

【国語】

① 全国や県との比較

本校は、平均正答率が県・全国を上回っています。特に、「話すこと・聞くこと」については、全国平均と比較して6%以上高い数値となっており、授業内での話し合い活動に意欲をもって取り組んでいることが見て取れます。また、漢字の読み書きに関する問題の正答率も高く、基礎的な知識の定着が図られていることがわかります。

② 本校の主な課題

選択式の問題の無答率は0%であるのに対し、記述式の問題には無回答の生徒が数人いました。特に、書き抜き問題以外の自分の考えを書く問題での無解答率が高いことから、書いたりすることを苦手としている傾向がうかがえます。

また、解答類型から文章中に表れた、ものの見方や考え方を明確にすることに課題が見られます。

③ 教科における主な改善点

文章を読む中で、文章に表れたものの見方や考え方について、自分の考えをもたせる活動を多く取り入れて行きます。このとき、自分の体験や知識と比較しながら批判的に読むことを意識させたいと考えています。また、自分の考えを文章に表現する活動も行う必要があります。



【数学】

① 全国や県との比較

数学的な技能においては、全国・山梨県よりも大きく上回っています。数学を苦手とする生徒に対して、基礎的問題の指導に力を入れてきた成果が出ていると思われます。見方・考え方、記述式という部分においては、全国・山梨県よりも上回り方が小さく、思考力や表現力をいかに伸ばしていくのかについて難しさを感じています。

16問中、13問において、無回答が0人という結果です。これは、無回答率が低く、今持っている知識や能力を使って回答しようと前向きに臨んでいる姿が感じられます。

基礎的内容については、入学時から毎時間継続しているドリル学習が効を奏したのか、正解率が高くなっています。全ての学習の基礎となる事柄がわかるようになっていることは望ましいことであると思います。今後も地道に継続していくことが必要であると考えます。

② 本校の主な課題

思考力を要する問題については、すぐに成果を生む方法はありませんが、過程を大切にしながら問題を解くという姿勢が大切であるので、文章題に限らず理論的に過程を追うことができるということを重視しながら学習を進めていこうと思います。また、友達同士の教え合い学習の機会を頻繁にとることで、説明をして相手に理解してもらおうという体験を何度も経験させていきたいと考えます。

③ 教科における主な改善点

数学はともすると敬遠されがちな教科ですが、本校の無答率は低く、何らかのアクションを起こそうという意欲が感じられます。この理由としては、基礎事項がある程度わかっており、自分の力で解答できそうな“手がかり”を感じているからであると思います。実際に正解にたどり着けるかどうかはともかく、まず嫌悪感なく向き合えていることが、その後の学習に繋がっていると思われます。今後も、嫌になるような難問ばかりでなく、自分の力を感じて充実感を得られるような問題を工夫しながら、指導していきたいと考えます。

質問紙調査の主な特徴

今回の調査では、学校や家庭における学習や生活の様子を調査したものです。多くの項目で肯定的な回答が高い傾向でした。69の質問項目のうち37の項目が、全国の平均を5pt以上、上回っていました。

「学校に行くのは楽しい。」「友達と協力するのは楽しい。」「人が困っているときは助ける。」と回答した生徒は、肯定的な回答が非常に高く(90%)さらに全国の平均を5pt以上、上回っています。日頃の生徒の様子を見ていると、友達を思いやる良好な人間関係が作られていると感じます。また、多くの生徒が自己肯定感を持って生活しており、将来の自己実現に向けて努力する必要性を感じています。

教科に関しては、1・2年生で行った授業はとても有効であったと考えており、自分の考えを深めたり伝えたり、解き方がわからなくても、今自分が身につけている知識や技能を使って、答えを導き出そうと授業に取り組んでいることがわかります。さらに、家庭学習の時間については、全国平均、県平均よりも高い数値を示しました。

以上のように改めて本校の生徒のよさを改めて確認できました。

肯定的な回答が非常に高い(90%以上)項目

(◎は全国平均を5pt以上上回っている項目)

- 朝食を毎日食べている。
- 毎日、同じくらいの時間に起きている。
- ◎自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
- ◎人が困っているときは、進んで助けている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ◎人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ◎学校に行くのは楽しい。
- ◎友達と協力するのは楽しい。
- 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。
- あなたは、家でどれくらい日本語を話しますか。



- ◎あなたが 1、2 年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- 国語の勉強は大切だと思う。
- 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている。

【生活習慣・学習習慣】で全国平均を上回る（5pt 以上）質問項目

- 自分には、よいところがあると思う。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日 2 時間以上勉強をしている。
- 今住んでいる地域の行事に参加したと思う。
- 1、2 年生のときに受けた授業で、学級の生徒との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていると思う。
- 1、2 年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていた。
- 1、2 年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。
- 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

【教科学習】で全国平均を上回る（5pt 以上）質問項目

- 国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしている。
- 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている。
- 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしている。
- 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしている。
- 数学の勉強は好き。
- 数学の授業の内容はよく分かる。
- 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。
- 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。
- 今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- 英語の勉強は好き。
- 1、2 年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができている。

肯定的な回答が低い（50%以下）質問項目

（▲▼は全国平均を 5pt 以上下回っている項目）

- ▲新聞を読んでいる。
- ▲▼1、2 年生のときに受けた授業で、コンピュータなどの ICT 機器を使用した。
- ▲▼あなたは学校で、コンピュータなどの ICT 機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために使用していた。
- ▲普段（月曜日から金曜日）、1 日 30 分以上、スマートフォンやコンピュータなどの ICT 機器を、勉強のために使っている。
- ▲▼あなたの家には、100 冊以上の本がある。

▲▼国語の勉強は好き。

▲これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にあった。(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)

▲新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、計画的に学習を続けることができた。

【生活習慣・学習習慣】で全国平均を下回る(5pt以上)質問項目

▲携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。

▲難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。

▲調査問題の解答時間は十分だった。



質問紙調査からの改善点

新型コロナウイルスの感染拡大期間中、自ら計画を立てて学習したり、復習したりすることについては、低い数値となりました。家庭学習や自主学習の時間は確保できているものの、今の自分にとって何ができて何ができないのか、自分の課題は何なのか、解決するためにどのような計画を立てればよいのかなど、自身を分析してどのような目標を立てて取り組んでいくかが課題です。

「見通しをもって作業したり、粘り強く考えたりすることやグループ間の議論を深めること」「様々な視点で考えを深めさせること」「知識をつなげ深く理解し、考えを形成すること」は主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善を行うことで、質の高い学びを実現することにつながっていくと考えます。

昨年度の ICT 機器を活用した授業については、月 1 回程度にとどまり、「学習の中でコンピュータなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つ」と考える生徒にとっては、コンピュータなどの ICT 機器を使った授業への期待が大きかったという結果が出ています。

令和 2 年度 ICT を活用した授業についての学習会を行い、授業で活用できるよう準備を進めてきました。生徒に配布された一人一台端末を活用し、令和 3 年度より各教科での活用が始まり、生徒の意欲が高まってきているように感じられます。今後は、コンピュータなどの ICT 機器を利用して、他の生徒と意見を交換したり、調べたり、「これからの教育現場に必要な ICT 環境」の実現を図って行くため、効果的な活用方法についてさらに研究を進めていきます。

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方では、「家の人と約束したことを守っている」ことに関して低い数値を示しています。各家庭で使用に関するルールを決めて、学習にも積極的に活用していくことが、今後の課題です。

中学生全体に言えることでもありますが、本校でも新聞をほとんど読まない生徒の割合は、8 割を超えています。毎週木曜日発行の山日小中学生新聞「週刊こびと」では、県内外で話題になっている出来事や様々なニュースを子どもや大人にもわかりやすく紹介しており、1 週間に起きた出来事やニュースをクイズにした 3 択 NEWS、クロスワードなど、親子で楽しみながら学べる情報を幅広く掲載しています。本校の図書館に今までの分もまとめて展示してありますので、ぜひ活用して見てください。

